



### 中央公園の再整備に伴う 周辺整備について



18番 篠原 亮太

**Q** 現在整備中の市役所駐車  
場完成後に再整備を行う新  
しい公園をより快適に利用す  
るため周辺環境の改善が必要  
です。周辺の違法駐車や近隣  
マンションのごみ問題など地  
域のルールや決まり事を徹底  
的に指導し、厳格な対応をす  
べきです。そういったことをし  
っかり守ったうえで生活し地  
域での秩序ある共が実現でき  
ると考えますが市の見解を伺  
います。

**A** 違法駐車については、以  
前から看板を設置し警告を  
促したり、警察に取締りパト  
ロールの強化を依頼しています。  
引き続き警察と連携しながら  
策に取組みます。周辺の集合  
住宅ごみ集積場においては、  
周辺住民から景観や衛生面、  
カラスによるごみの散乱等に  
対する苦情を頂いています。  
集合住宅の管理会社へ随時  
連絡し指導するとともに来  
庁して頂き、改善に向け話し  
合いを進めてきました。引き  
続き適正なごみ出しルールの  
徹底のため、外国語表記や  
定期的なパトロールを実施し  
状況の改善に努めていきます。

### 選択的週休3日制の導入について



21番 岡部 一正

**Q** 働く人のライフスタイル  
が多様化する中、選択的週  
休3日制を導入する動きが自  
治体にも出てきているよう  
です。本市の見解は。

**A** 「選択的週休3日制」は、  
令和5年の人事院勧告で国  
家公務員の働き方改革の一  
環として導入が求められた  
もので、国家公務員は令和  
7年4月に導入され、地方  
公務員においても一部の自  
治体で導入が進められて  
いるものと認識しています。  
制度の導入により職員が多  
様な働き方を選択できるよう  
になり、人材確保にもつな  
がりますが、本市では職員  
のワーク・ライフ・バランス  
の推進や業務改善により市  
民サービス向上させるため  
、本庁舎等の受付時間を  
午前9時から午後4時30  
分までに変更する取組を  
今年8月から始める予定  
です。市としては、この取  
組に伴う効果等を検証した  
上で、選択的週休3日制の  
導入について調査・研究を  
進めていきたいと考えて  
います。

### 交通安全対策としての錯覚効果 を利用した道路標示の導入について



11番 土屋 茂樹

**Q** 通学路や生活道路にお  
ける交通事故防止対策は、  
重要な課題であります。  
特に住宅地では速度超過が  
事故につながる危険性が  
高く、より実効性のある  
対策が必要だと考えま  
す。そこで、路面に立体的  
に見える横断歩道や速度  
路面標示を施し、運転者  
に視覚的な注意喚起を促  
す「錯覚」を活用した道  
路標示の導入について伺  
います。

**A** 錯覚効果を活用した道  
路標示(イメージハンブ等)  
は、運転者に視覚的な注  
意を促し減速効果が期待  
される交通安全対策の一  
つです。本市では中川堤  
通りの中川やしおフラワ  
パーク付近で試験導入し  
ましたが、当初は効果が  
見られなかったものの、  
時間の経過とともに運  
転者が慣れ、効果が継続  
しにくい傾向がありました。  
生活道路や通学路では  
子どもや高齢者が関係  
する事故も課題となっ  
ており、今後、専門業者  
の意見を踏まえ、設置  
場所や導入効果や課題  
について調査研究して  
いきます。

### 北部地区の小中学校の 統合等について



1番 大島 愛音

**Q** 小学校が先に統合すると  
八條中学校が北に1校とな  
ります。しかし、小中2校  
あることで通学の安全性、  
学校行事の活性化が保た  
れてきた側面があります。  
何かあった際の駆け込み  
先としての機能、小中合同  
運動会が少人数ながらも  
大変な盛り上がりで開  
催してきた事などに  
対し、今後の対応が  
必要です。また小規模  
特認校制度の存続を  
望む保護者の方々と、  
統合を進める市の認識  
に大きな乖離

**A** 子ども達の登下校の  
安全性、合同運動会  
の運営の仕方等、学  
校とも協議し検討し  
ていかなければと考  
えています。三者の方  
々での相談に  
関しては教育委員会  
として検討して  
いきたいと思います。

### 交通安全対策について



13番 池谷 正

**Q** 八潮駅南部地域の幅員  
27mの八潮三郷東西線、  
及び幅員16mの大原伊  
勢野線の開通により、  
地元住民の行き来が分  
断され、住民から横断  
歩道の設置を求める  
声が伺っています。

**A** ①草加警察署に確認  
したところ、交通事  
故のリスクが高まる  
理由から片側二車線  
道路に横断歩道を設  
置しない方針である  
と伺っています。②  
横断需要が高いこと  
が設置の条件であり、  
現時点では、この区  
間に横断歩道を設置  
する予定はないと伺  
っています。なお、当  
該区間に、通学路が  
設定された場合には、  
設置箇所の要望を受  
けて草加警察署が設  
置の検討を行うと伺  
っています。

### 県立特別支援学校の設置について



12番 大泉 芳行

**Q** 八潮高校は令和8年  
4月1日に八潮南高校  
と統合され閉校とな  
ります。県の教育委員  
会の計画では、旧八  
潮高校跡地を活用し  
2030年4月に特別  
支援学校の設置に  
向け計画を進めて  
いるが、内閣府の「  
福祉避難所の確保・  
運営ガイドライン」  
に沿って特別支援  
学校を福祉避難所  
とする予定はある  
か。

**A** 内閣府のガイド  
ラインでは、特別  
支援学校の長所と  
して、「在学生やそ  
の家族にとって、  
慣れ親しんでいる  
場所に避難すること  
で安心感があるこ  
とが想定され、かつ、  
バリアフリー化され  
ている施設が多い」と  
されています。近  
隣市町の指定状況  
は、草加市は2校  
中1校の指定、越  
谷市は2校中1校  
の指定、三郷市  
は2校中1校の指  
定、松伏町は1  
校で指定はして  
いない状況です。  
本市ではまだ  
福祉避難所の指  
定について、  
埼玉県と協議  
を開始しており  
ますが、特別  
支援学校の開  
校までに協  
議をしてい  
きたいと考  
えています。

### その他の一般質問事項

※数字は議席番号です

⑧八潮市内における児童・生徒対象の放課後や休日の相談体制について⑧令和9年度入学者選抜から大幅に変更される埼玉県公立高校選抜に関連した本市の中学校の入試対策について⑥調整池の有効活用について⑥八潮市役所と周辺整備について⑦災害に強い地域づくりについて⑦大瀬地区の水路整備と通学路の安全確保について⑨市内の公園について⑨ごみ出しのルールについて⑨輝く八潮の子どもたちについて⑩シティプロモーションの推進について⑩採択請願（敷地面積165㎡の規制緩和）に関する進捗について⑩公園の設備計画について③インクルーシブ教育の推進と多様な学びについて③交通安全施設・駐車場設備に関する基準の見直しについて⑥「フェーズフリー」という概念を取り入れた防災施策について⑥メセナアネックスへのWiFi整備について⑩陥没事故について⑩放置されている動産、不動産の取り扱いについて⑩本市の基準財政需要額について②二丁目の治水対策について②生徒指導の在り方と不登校生徒（児童）への対応について①本市におけるBCP（業務継続計画）の強化について①コンビニATMを活用しての口座振替登録の促進について①市役所周辺のゴミ置き場について



### 用語 一般質問とは

議員が市の仕事全般について、執行機関から現在の状況やこれからの考えを聞くこと

### 意見書

定例会において、掲載の意見書を原案のとおり可決しました。なお、可決した意見書は、関係機関に送付しました。

### 巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書

本年は東日本大震災から15年の節目の年にあたる。我が国では地震・台風・豪雨など自然災害が頻発しており、国民の生命・生活・経済活動に甚大な被害をもたらしている。特に、今後発生が懸念される南海トラフ地震や首都直下地震、さらには富士山噴火等の巨大災害は、我が国全体に極めて深刻な影響を及ぼすことが想定されている。

このような状況を踏まえ、政府は「防災庁」の設置を決定し、災害に強い国づくりを目指して体制整備を進めているが、実際の災害対応においては、地方自治体・地域住民・民間団体・ボランティア組織などの連携強化が不可欠である。

よって、政府におかれては、国民の命と暮らしを守るために、災害に強い国づくりの実現に向けて、次の事項について速やかに対応されるよう強く要望する。

### 記

1 南海トラフ地震や首都直下地震等の発生に備え、発災時における国の支援体制を一層強化し、被災地への人員・物資・情報支援が円滑かつ迅速に行われる仕組みを確立する

こと。

2 各地方自治体と連携し、災害時の情報共有体制、避難計画、医療・福祉・インフラ維持などの分野での協働体制を平時から確実に整備・確認すること。

3 新設される防災庁においては、中央政府と地方自治体、各種支援団体との緊密な連携を図り、災害対応の一元化・迅速化を実現するための機能を強化すること。

4 国の防災施策や制度変更については、地方自治体に対して十分な説明責任を果たし、人的・財政的支援を適切に講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。  
令和8年3月19日

提出先 埼玉県八潮市議会  
議長、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、防災庁設置準備担当大臣、防災担当大臣

### アメリカ、イスラエルによるイラン攻撃の即時中止と双方が話し合いのテーブルに着くことを求める意見書

アメリカ、イスラエルが令和8年2月28日、イランに対して大規模な攻撃を開始した。イランの核開発に関する話し合いを行っている最中の主権国家への武力攻撃はどんな理由であれ認められない。

国連憲章は第二次世界大戦の痛苦の反省から、国家間の紛争解決に際して自国が不当な侵略を受けた場合を除き、「武力行使の原則禁止」を明記している。今回の攻撃はこの国連憲章に明確に違反するもので、こうしたことが許されるならば、世界は無法地帯になり、ロシアのプーチン大統領によるウクライナ侵攻も容認されることになってしまう。

使の原則禁止」を明記している。今回の攻撃はこの国連憲章に明確に違反するもので、こうしたことが許されるならば、世界は無法地帯になり、ロシアのプーチン大統領によるウクライナ侵攻も容認されることになってしまう。

よって、国においては、日本国憲法の平和主義に基づき、アメリカ、イスラエルの武力によるイランへの先制攻撃に抗議し、即時攻撃中止と双方が話し合いのテーブルに着くことを求めるよう要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。  
令和8年3月19日

提出先 埼玉県八潮市議会  
議長、衆議院議長、参議院議長、外務大臣

### 議案

### 議案第36号 八潮市教育委員会委員の任命について

令和8年3月31日をもって任期満了となる八潮市教育委員会委員に、高橋 洋一氏（たかはし よういち、大字垢）の任命について同意しました。

### 議案第37号 八潮市監査委員の選任について

令和8年3月31日をもって任期満了となる八潮市監査委員に、上原 哲也氏（うえはら てつや、越谷市）の選任について同意しました。

### 委員会のついで

### 総務文教常任委員会

委員会に付託された議案については、令和7年度八潮市一般会計補正予算（第11号）などの分割付託3議案、その他7議案のあわせて10議案の審査を行いました。

八潮市手数料条例の一部を改正する条例については、意見として、「議案第30号八潮市手数料条例の一部を改正する条例について反対の立場から討論いたします。

今回の条例改正は、市民の利便性の向上と個人番号カードの普及促進を図るため、令和8年8月から令和10年3月までの間に限り、コンビニエンスストア等に設置している多機能端末機による戸籍謄本等の交付手数料を減額するものになります。

この条例改正はマイナンバーカード普及が第一目的という点ですが、マイナンバーカードはそもそも任意です。利便性が高まる事は良いことであり、持たない人持ってる人の生活環境に差が生まれるのは仕方がないことと思いますが、全員が持つことを目標のようにされてしまうような流れが、持ちたくない人の自由な意思、生き方を阻害することに将来的に成りかねないと感じております。

マイナンバーカードを既に先行した国々の実態は、マイナンバーカードに非常に問題がある

# 委員会のうごき

7面から 続く

と言われ、現在はそのような制度は採用されていない状況です。例えばオーストラリアでは、1986年に課税逃れや社会保障の不正受給対策として、日本のマイナンバーカードのような統一の番号制度の導入法案というのを提出しましたが、翌年、プライバシー保護のために廃案となったという経緯もあります。以上のことから、持ちたくない人の自由な意思、将来の生き方を担保するため、当議案に反対いたします」との発言がありました。

議案の審査結果については、10議案すべて可決すべきものと決しました。

## 建設水道常任委員会

委員会に付託された議案については、令和7年度八潮市一般会計補正予算(第11号)などの分割付託2議案、その他12議案のあわせて14議案の審査を行いました。

令和8年度八潮市一般会計予算については、「路面下空洞調査業務委託料について、最も深い位置にある埋設管はどのくらいですか。また、その埋設管に異常や空洞があった場合は把握できるのか伺います」との質疑に対して、「最も深い位置にある埋設管は約10mです。ある程度の深さまでなら調査も可能ですが、地下水の影響等で精度が下がり、また、道路陥没は、地中の空洞が表層近くまで上がってきて起こることが多いことから、費用対効果を考慮すると

約1・5mの深さまで調査するのが一般的です。比較的深いところにある空洞については、定期的な調査により、しっかりと経過観察していくことが重要だと考えています」との答弁がありました。

議案の審査結果については、14議案すべて可決すべきものと決しました。

## 福祉環境常任委員会

委員会に付託された議案については、令和7年度八潮市一般会計補正予算(第11号)などの分割付託3議案、その他9議案のあわせて12議案の審査を行いました。

八潮市国民健康保険条例の一部を改正する条例については、意見として、「議案第29号八潮市国民健康保険条例の一部を改正する条例について、反対の立場で討論します。

本条例の改正は、令和6年度の子ども・子育て支援法等の一部改正により、「子ども・子育て支援納付金」を徴収するために行われる改正です。あわせて、課税限度額の引き上げが行われるものです。本市の国民健康保険は、この5年間毎年のように改定が行われ、令和2年度の課税限度額の総額は96万円でした。この金額が令和7年度は106万円です。さらに、令和8年度は子ども・子育て支援分を含めると112万円になります。実にこの5年間で10万円上昇し、さらに6万円も負担が増えることとなります。上限額だけでは

なく、この5年間で、所得割・均等割の税率も上昇してきました。この間、物価上昇が続き、賃金の上昇率はこれに追いついていません。このような状況の中、さらに負担を増やし、生活を圧迫するようなことは行うべきではないと思います。

国民皆保険は、全ての国民が、安心・安全な生活を送るために必要な制度です。これは、国が責任をもって対策をすることが必要だと思います。

以上、八潮市国民健康保険条例の一部を改正する条例についての反対討論とします」との発言がありました。

議案の審査結果については、12議案すべて可決すべきものと決しました。

## 公共施設整備等調査特別委員会

令和8年2月27日、第2回本委員会を開催し、①やしお生涯学習館大規模改修工事実施設計の概要について②教育相談所の再整備について執行部より説明を受け質疑等行いました。

また、3月25日、第3回本委員会を開催し、「公共施設マネジメント基本計画の見直しについて」執行部より説明を受け質疑等行いました。

## 陳情

■政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情  
陳情者住所 埼玉県さいたま市  
陳情者 ハラスメントから職員を守る埼玉県民の会 代表 井田 寿夫

### ●令和8年第2回定例会(6月)の日程(案)●

6月1日(月)	本会議 <b>LIVE</b> 開会、開議、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸報告、議案の上程及び提案理由の説明など
9日(火)	本会議 <b>LIVE</b> 総括質疑(議案に対する質疑)、議案の委員会付託
10日(水)	総務文教常任委員会
11日(木)	建設水道常任委員会
12日(金)	福祉環境常任委員会
15日(月)	本会議(一般質問) <b>LIVE</b>
16日(火)	本会議(一般質問) <b>LIVE</b>
17日(水)	本会議(一般質問) <b>LIVE</b>
18日(木)	本会議 <b>LIVE</b> 委員会報告、質疑、討論、採決など、閉会


※この定例会日程は予定ですので、変更する場合があります。  
**LIVE**…ライブ配信日。

**「友だちに登録してください」**  
やしお市議会だよりメール・LINE配信


やしお市議会だよりの発行にあわせて、市の情報配信サービス「やしお840メール」およびLINEを配信しています。やしお840メールやLINEは、パソコンや携帯電話で受信できますが、利用するには登録が必要です。市のホームページまたは左記の二次元コードよりアクセスしてご登録ください。

市公式LINE

友だちに登録してください。




ぜひご登録ください



やしお840メール

空メールを送信してください。



## 編集後記

議会報編集委員会から


今定例会では、市民生活に直結する新年度予算について、暮らしの安全確保や子育て、教育、持続可能なまちづくりなど、幅広い分野にわたり審議を行いました。

一般質問では、各議員がそれぞれの視点から、「住みやすさナンバー1のまち 八潮」をどう実現していくかについて、議論を深めています。

議会だよりを通じて、市政の動きをより身近に感じていただき、市民の皆さまの声をこれからもまちづくりにしっかりとつなげてまいります。

(内田 亜希子)

## 議会報編集委員会



(委員長)

前原 鮎美

(副委員長)

小倉 聖彦

(委員)

小宮 弘子

内田 亜希子

土屋 茂樹

林 雄一

鈴木 貞夫